

⑥ 令和4年度予算で行う 主な事業をチェックしましょう

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、令和4年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

戦略①

「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

国土強靱化の推進

- 「かわさき強靱化計画」に基づく取組の推進
- 災害情報通信システムの整備推進

不燃化の取組やまち全体の耐震化の推進

- 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進
- 地域住民との協働による防災まちづくりの推進
- 民間建築物及び宅地等の耐震化の推進

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

- 本庁舎等建替えの取組【イラスト左】

上下水道機能の安定確保

- 上下水道施設等の耐震化
- 応急給水拠点の整備

地域防災力の向上

- 地域防災力の強化に向けた取組の推進【写真中央】

消防力や救急医療体制の強化

- 消防署所の整備
- 消防指令センターの更新整備
- 消防団員の処遇改善

感染症対策の強化

- 感染症の発生ステージに応じた国や県、医療機関等と連携した取組の推進

気候変動に伴う風水害への適応力の強化

- 五反田川放水路の整備
- 浸水シミュレーション等に基づく浸水リスクの高い重点化地区や局地的な浸水箇所における浸水対策の推進
- 平瀬川の多摩川合流部の堤防整備に向けた取組の推進

防犯の取組や安全対策等によるまちの価値の向上

- LED防犯灯の設置等の推進や防犯カメラの設置支援
- 交通安全対策の推進
- 総合的な犯罪被害者等支援の推進
- 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進【写真右】



新本庁舎完成イメージ



総合防災訓練の様子



ホームドア設置例(小田急登戸駅)

戦略②

「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

希望する誰もが安心して 子どもを預けられる環境づくり

- 認可保育所受入枠の拡大(20か所1,230人の受入枠拡大)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大(3か所47人の受入枠拡大)
- 保育士等の処遇改善の実施
- 幼稚園における保育ニーズへの対応(4園83人の枠拡大)
- 幼稚園における就労家庭の園児受入の促進
- 保育士確保対策の推進
- 認可保育所等の整備(保育所10か所515人分)
- 保育・子育て総合支援センターの整備

子どもがすこやかに育つ 安全な環境づくり

- 児童養護施設・乳児院等における施設の機能強化
- 児童相談体制の強化に向けた施設整備
- ひとり親家庭支援施策の推進
- 障害児等への適時適切な相談・支援の実施

子ども・若者の安心できる 居場所づくり

- 地域の寺子屋の開講(新規開講予定15か所)

未来を担う人材の育成

- 「分かる」授業の実現への学力調査・授業改善研究の推進
- 「キャリア在り方生き方教育」の推進
- 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実
- 学校図書館の充実(小学校へ学校司書を配置56校→70校)
- 「かわさきGIGAスクール構想」の推進
- 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援

安全で快適な教育環境の整備

- 児童生徒数・学級数の動向に応じた計画的な施設整備
- 新川崎地区の小学校新設に向けた取組
- 学校施設の長寿命化に向けた取組(校舎36校、体育館23校)
- 学校トイレの改修(26校)

多様性や子どもの権利が認められる 社会の実現に向けた取組の推進

- 中央支援学校の狭あい解消や更なる教育内容の充実に向けた施設整備
- 「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちと意見表明の促進



保育所における子どもたちの様子

戦略③

「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

総合的なケアの推進

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
- 全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進
- 認知症の人や家族を地域で支える体制の構築
- 質の高い介護サービスを支える人材の確保
- 障害福祉サービス基盤の整備
- 地域包括ケアシステムや高度医療を担う看護人材の戦略的な養成・確保

健康寿命の延伸に向けた取組

- 市民の健康づくりの促進
- がん検診の受診率向上に向けた取組
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

誰もが暮らしやすい住環境づくり

- 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進
- 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムの構築に資する市営住宅の活用推進

社会的・経済的自立に向けた取組の 推進

- 障害者の特性に応じた就労等に向けた取組の推進
- ひきこもり地域支援センターにおける取組の推進

誰もが生きがいを持てる地域づくり

- 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進に向けた取組



市立看護大学における演習授業の様子

「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

広域拠点の整備

- 川崎駅周辺地区、京急川崎駅周辺地区整備の推進
- 小杉駅周辺地区における民間開発の誘導等の推進
- JR武蔵小杉駅新規改札口設置に向けた取組等の推進
- 新百合ヶ丘駅周辺地区整備の推進

地域生活拠点等の整備

- 登戸土地区画整理事業の推進
- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくりの推進
- 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進
- 柿生駅前南地区の再開発事業の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

- 都市計画道路等の整備
- 緊急渋滞対策の推進
- 国道357号などの国直轄道路の整備促進
- 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進
- JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進
- (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備

鉄道ネットワークの形成

- 横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた取組の推進

身近な交通環境の形成によるコンパクトで暮らしやすいまちづくり

- 路線バスネットワークの形成に向けた取組
- コミュニティ交通の支援
- 駅アクセスの向上に向けた取組の推進

緑と水の環境形成

- 緑化フェア開催に向けた取組の推進
- 多摩川の魅力を活かす取組の推進
- 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント

- 民間活力の導入などによる公園等の管理運営の推進
- 新たなみどりの担い手の確保・育成に向けた取組等のグリーンコミュニティ形成の推進
- 大規模な公園緑地の整備
- 魅力的な公園の整備

地域資源等を活かした魅力的な都市空間づくり

- 地域緑化の促進によるみどりのまちづくりの推進
- 木材利用の促進



緑化フェア：全市展開のイメージ図

「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

脱炭素化の推進

- 市民・企業等との協働による温室効果ガス削減
- グリーンイノベーションの推進及び中小企業に対するESG投融資の促進
- 地域エネルギープラットフォームを担う「地域エネルギー会社」の設立に向けた取組(令和5年度設立予定)
- 処理施設の安定的な運営及び長寿命化の推進
- ごみ減量・リサイクルの推進
- プラスチック資源循環施策の推進
- 川崎港のカーボンニュートラル化の推進

中小企業の支援・商業の振興

- 市内中小企業・商業等の支援
- 中小企業のデジタル化などの社会変化への対応

都市農業の振興

- 都市農業振興施策の推進

就業の支援

- 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進

臨海部の活性化

- 臨海部の競争力強化
- 臨海部の新産業創出拠点の形成
- 大規模な土地利用転換の取組の推進
- 国際戦略拠点の形成・マネジメント
- 交通機能の強化
- 臨港道路東扇島水江町線の整備
- 港湾物流機能の強化



多摩川スカイブリッジ

戦略⑥

「みんなの心がつながるまち」をめざす

パラムーブメントの取組の推進

- かわさきパラムーブメントの取組の推進
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

人権と多様性が尊重されるまちづくりの推進

- 平等と多様性を尊重した人権関連施策の推進

スポーツ・文化芸術の振興

- スポーツのまちづくりの推進
- 若者文化の発信【写真左】
- 市民の文化芸術活動の振興
- 被災収蔵品の修復等と新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進
- 橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群の保存・整備・活用の推進
- 音楽や映像のまちづくりの推進

協働により、心がつながるコミュニティづくり

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり【写真右】
- 町内会・自治会の活動を支える取組の推進
- 生涯学習や地域活動の場としての学校施設の有効活用

シティプロモーションの推進

- 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進
- 市制100周年に向けた取組の推進
- 川崎の特性を活かした観光の振興



INTERNATIONAL STREET
FESTIVAL KAWASAKI 2021
DOUBLE DUTCHの様子



「まちのひろば」創出職員
プロジェクトの様子

戦略⑦

「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」をめざす

行財政改革の推進

- 社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築
- 市役所の経営資源の最適化
- 多様な主体との協働・連携の更なる推進
- 庁内の人材育成と意識改革

資産マネジメントの推進

- 「資産保有の最適化」「施設の長寿命化」「財産の有効活用」の推進

デジタル化の推進

- デジタル技術とデータを活用した「市民サービス向上」と市役所内部の「業務改革」の推進

地方分権改革の推進

- 特別自治市制度の実現に向けた広報活動等の実施

健全な財政運営

- 「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく財政運営

脱炭素社会の実現に向けて

川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、令和2(2020)年2月に2050年のCO₂排出実質ゼロを表明するとともに、令和2年11月に脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、2030年に向けた取組の一つとして、『脱炭素アクションみぞのくち』の取組を行っています。

高津区溝口周辺地域で脱炭素化に向けた身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりが環境について考え、行動することを促し、脱炭素社会の実現を目指します。



Carbon Zero Action
MIZONOKUCHI



脱炭素アクションみぞのくち

脱炭素アクションみぞのくちの取組紹介

再生可能エネルギー ●家庭向け電力購入プラン、公共・商業施設の電力の再生可能エネルギー100%化、廃棄物発電(予定)

資源循環の取組 ●マイボトルの普及(給水スポットの設置)、プラスチックごみ一括回収(実証試験)

シェアリングエコノミー ●シェアサイクル、傘のシェアリング 水素エネルギーの利活用 ●水素ステーション、駅への導入